

A portrait of Wang Jiaxiang, an elderly man with white hair and glasses, wearing a striped shirt. He is standing outdoors with trees in the background.

ボランティアは、  
できる人が、  
できる範囲で



時間の許す限り、被災現場の片付け作業を行いました(7/13 みなと校区)。

▼「これまで経験したことのない台風」に備え、市が管理している施設の片付けを行い、もう大丈夫だろうと職場に戻ったところ、ご近所の方から電話が▼雨戸のない窓を、ダンボールとテープで養生

編集後記

をしてくださったとのこと。更に別の方よりシャツターが飛ばないよう縛つておいたよと連絡が▼災害に際してご近所の皆さんのお温かさを再認識し、ありがたい気持ちでいっぱいになりました（野）

点訳奉仕「大牟田むつき会」会長  
傾聴ボランティア「うさぎ」副会長  
同行援護ボランティア「なづな」会長

清田 純次さん

おおむた  
輝人

私自身、一番長く関わっているのが、傾聴ボランティアです。福祉施設などで、入所している人の話し相手となり、心に寄り添い、熱心に耳を傾ける活動です。高齢化が進む大牟田には必要な活動だと、社会福祉協議会の講座を受けた後、平成19年に「うさぎ」を立ち上げました。当時は傾聴という言葉 자체が珍しく、活動を理解してもらうのに時間がかかりましたが、徐々に施設などからの依頼が増え、今でも他のメンバーと一緒にがんばっています。相手

点訳ボランティアにも長く携わっています。盲学校の出身の人は点字を読める人が多く、点訳本を楽しみにしているため、小説や広報おおむた、ニュースやエッセイなど、さまざまなものを点訳しています。メンバーの高齢化が進み、活動も大変ですが、必要とする人が一人でもいる限り、続けていきます。忙しい毎日ですが、思うままに活動させてくれる妻には、感謝の言葉しかありませんね。

ボランティアという意識をあまり持たず、困っている人がいれば手助けしたいという感じで活動しています。そのため、7月の豪雨災害では、いてもたってもいられなかつたですね。現場では地域の皆さん協力し合つて作業している姿をたくさん見かけ、感激しました。ボランティアは、できる人ができる範囲で、ひとりでも多くの人が関わることが大切だと思っています。

方が主人公であることを忘れず、話に共感し、親身になつて耳を傾けることを心掛けています。

9月より、市の防災対策室と調整しながら豪雨災害で被災された人への傾聴活動を始めました。熊本地震のときは支援活動を2年間続けました。心のケアには時間が必要であり、今回も長期的に支援できればと考えています。

## 柔道強国！ジョージアの魅力



## ナリカラ要塞とトビリシ市街

## 首都「トビリシ」

19世紀の街並みが残る旧市街や、古い大聖堂、温泉にも恵まれた人口約110万人の都市です。

5世紀に当時の国王が鷹狩り中に温泉を発見し、都をこの地に移すよう命じたと伝えられており、ジョージア語「トビリ（温かい）」が語源です。

大牟田市は、柔道ジョージア代表のホストタウンです

Twitterで  
情報発信中

